

## システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 27 年度	学位名		修士( 工学 )
専 攻	知能機能システム	専攻	著者氏名	今澄 亮太
指導教員氏名 星野准一				
論文題目				
CosmoTree:制作プロセス構造化によるコンテンツ制作支援				
論文概要				
<p>エンタテインメントの普及に伴い、プロアマ問わず様々なコンテンツ作品の制作が盛んに行われるようになっていく。ところが、エンタテインメントによる楽しさや面白さは多種多様であるため、プログラミング、デザイン、音楽など、コンテンツ制作の過程では様々な専門的なスキルが必要とされる。</p> <p>また、コンテンツ制作は大規模な開発や企業の場合は、マネージャーやディレクターのように制作を管理するプロが制作過程を制御することが一般的であるが、アマチュア制作や異種分野の制作者が関わる場合、制作プロセスの不透明さや専門的知識の不足により、制作管理や知識・スキルの習得が容易ではないという問題がある。</p> <p>そこで、本稿では制作者の制作効率の向上と学習支援を目的とし、制作プロセスの構造化と視覚化により、異種分野の制作者による制作管理や自己評価を支援するシステム CosmoTree を提案する。</p> <p>コンテンツ制作プロセスをワークフローとして構造化を行うことで、制作プロセスの可視化、共有化を促す。制作支援システム CosmoTree の導入により、制作前の計画段階から制作後のフィードバックまでを包括的にサポートする。計画段階では他者のワークフローの参照、制作中はワークフローを中心とした制作管理、制作後はワークフローの変遷、ユーザモデルへの反映による包括的な制作支援を実現した。</p> <p>評価実験では、プロトタイプシステムを用いたコンテンツ制作を実験参加者に行ってもらい、ワークフローの記述法の妥当性、制作前、制作中、制作後の各フェーズ毎の制作支援が十分に行われているかを検証した。</p> <p>評価実験の結果、提案システムによって、コンテンツ制作の計画前では他人のワークフローの参照、制作中はワークフローをベースにした制作管理が効果的な支援がされていると考えられ、制作後の振り返りや反省についてもワークフローの変遷の参照が制作支援に効果があることが示唆された結果となった。</p>				
審査日	平成 28 年 1 月 28 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 准教授	博士(情報科学) 博士(デザイン学)	星野 准一	
副査	筑波大学 教授	博士(医学) 博士(工学)	星野 聖	
副査	筑波大学 准教授	博士(情報科学)	望山 洋	